

京城日報

刊夕
(水)日八月七
大正六年八月七日
東京市本町二丁目
電話本局二五九七番

北京料理
蓬萊閣
京兆市本町二丁目
電話本局二五九七番

總督出發前に 治鮮方針を發表

宇垣總督若槻首相を訪問 統治方針を協議す

【東京電】宇垣總督は八日午前九時、若槻首相官邸に訪問し、治鮮方針を協議す。首相は、宇垣總督の治鮮方針を、大體賛同する旨を述べ、更に治鮮方針に關して、詳細なる説明を求め、共に十一日出發に先立ち、總督の形式で發表す。宇垣總督は、治鮮方針の内容について、打合せをなし、會見約一時間餘にして終了した。

何等かの形式で發表

會見後 宇垣總督語る

【東京電】宇垣總督は、會見後、記者の質問に答へ、自分は、治鮮方針を、何等かの形式で發表するつもりである。自分は、治鮮方針を、何等かの形式で發表するつもりである。自分は、治鮮方針を、何等かの形式で發表するつもりである。

朝鮮神宮に參拜後 今井田總監初登壇

職員を集めて初訓示

【東京電】朝鮮總督府は八日午前八時、朝鮮神宮に參拜し、午後一時、職員を集めて初訓示を行つた。訓示は、朝鮮總督府の組織、業務、及、治鮮方針について、詳しく説明した。訓示は、朝鮮總督府の組織、業務、及、治鮮方針について、詳しく説明した。訓示は、朝鮮總督府の組織、業務、及、治鮮方針について、詳しく説明した。

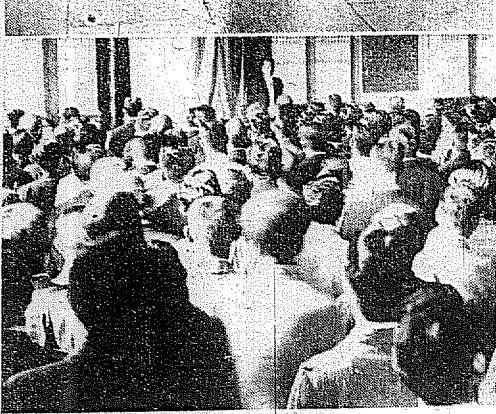
事務は簡便 仕事は愉快に

意思の通を圖る

【東京電】朝鮮總督府は、事務を簡便にし、仕事を愉快にする事を、第一の目的とする。意思の通を圖る。意思の通を圖る。意思の通を圖る。

第一日の今井田總監

【上】朝鮮神宮參拜 (八日午前八時五十分)
【下】第一會議室で訓示 (午前九時半)



早速勉強にかゝる 當分は事務見習さ

早速の記者逆襲に總監室爆笑 景氣のよい新總監

【東京電】朝鮮總督府の新總監、八日午後一時、記者の逆襲に、總監室で爆笑した。景氣のよい新總監。景氣のよい新總監。景氣のよい新總監。

早速勉強にかゝる

當分は事務見習さ

【東京電】朝鮮總督府の新總監、八日午後一時、記者の逆襲に、總監室で爆笑した。景氣のよい新總監。景氣のよい新總監。景氣のよい新總監。

朝鮮鮮事 國民政府 正式抗議文手交

外交部幹部の協議を経て 重光代理公使に

【東京電】朝鮮鮮事、外交部幹部の協議を経て、重光代理公使に正式抗議文を手交した。外交部幹部の協議を経て、重光代理公使に正式抗議文を手交した。外交部幹部の協議を経て、重光代理公使に正式抗議文を手交した。

加俸減緩和の 希望を述べ

宇垣總督より蔵相に

【東京電】朝鮮總督府の宇垣總督は、加俸減緩和の希望を、蔵相に述べた。加俸減緩和の希望を、蔵相に述べた。加俸減緩和の希望を、蔵相に述べた。

最善の努力を拂つて 局面を正しく導く

國際公法上の責任はないが 犠牲者は充分に慰問救恤す

【東京電】朝鮮鮮事、國際公法上の責任はないが、犠牲者は充分に慰問救恤する。國際公法上の責任はないが、犠牲者は充分に慰問救恤する。國際公法上の責任はないが、犠牲者は充分に慰問救恤する。

三橋課長を 更に平壤に

更に平壤に

【東京電】朝鮮鮮事、三橋課長を更に平壤に派遣した。更に平壤に。更に平壤に。更に平壤に。

第一日の今井田總監

【上】朝鮮神宮參拜 (八日午前八時五十分)
【下】第一會議室で訓示 (午前九時半)

事務は簡便 仕事は愉快に

意思の通を圖る

加俸減緩和の 希望を述べ

宇垣總督より蔵相に

【東京電】朝鮮總督府の宇垣總督は、加俸減緩和の希望を、蔵相に述べた。加俸減緩和の希望を、蔵相に述べた。加俸減緩和の希望を、蔵相に述べた。

ルビノス

口金三個 買銭入

品質優良 満点

口金は最高の
酒店で現金に
引替へます

天然
三ツ矢サイダー
銀泉
三ツ矢平野水

大賞品
 中元
 七月初十五日まで
 素晴らしい人氣
 松壽堂
 八百坪宛
 三本
 一本當額あと二本あり
 貳等
 拾貳米
 三本
 洋式大鏡台
 椅子付
 一本
 洋服簾笥
 一本
 桐簾笥
 二本
 目轉車
 二本
 雷音器
 二本
 外
 一本
 この分まだ一本も售
 順して居りません
 四等
 紹丸帶。紹錦紗
 置時計。鏡台
 冷蔵庫。其他
 ▲まだ出ない分が半數
 以上あります
 五等
 藤椅子。置時計
 水屋。麻座布團
 鏡台。其他
 一本
 ▲まだ出ない分が半數
 以上あります
 六等
 浴衣地。テーブ
 ル掛。茶器。蛇
 の目傘。化粧品
 其他
 六本
 ▲まだ出ない分が半數
 以上あります
 七等
 菓子。封筒。雜
 記帳。其他
 一本も空くしはあり
 ません
 お買物一圓毎に
 景品券一枚進呈
 本間聯合
 松榮會

平部名産 松樹製其傳工
 内地土産 記念品 タイル敷 各種
 松壽堂
 電話三五番
 松樹製其傳工
 松壽堂
 電話三五番
 松樹製其傳工
 松壽堂
 電話三五番

中元には三越の品

ヲツキ
 龍
 カリー
 品 答 贈 元 中
 油 醬 ウ リー コ ツ キ
 品 適 最
 所 蒙 出 鮮 朝 社 會 式 株 油 醬 田 野

アイスクリーム専用
 レモン及ワニナ香料
 東京華洋行
 長崎支店 九九九番

神田三二七番

好評五版

變換して日本語に紡れ込んだ古今の外國語五千の語原・綴り・譯解を闡明した名著。英語學習に缺く可らざる同時に最も信頼すべき現下唯一のモダン語辭典

東京町見士富町
研究社

增進劑

清汁（小の匙）一椀を美味くするに味の素一杯（小の匙）その經費は僅か二厘

店商木絲 適用閩省內宮

白頭山の初登り 今年の白頭山登りには、瀧澤留生、大隈敬輔、現人フツクス氏、八戸常大文科留生、獨逸人（一ニシ）氏、**三井和歌館事務員**ル・カンパニー氏、この三氏によつて、決行された。瀧澤は右フツクス氏左端（一ニシ）氏、ル・カンパニー氏、茂山出山の瀧澤



咸鏡北道

朱乙面の
模範部落を視る
(一)

咸北支局

長谷硯堂

留學在歐の饒原石川氏が五日の日曜を利用して、饒師北米面の機織設備を觀察するの事を耳に、自分も一度は見て置きたいと思つて行共有した。七時五十分發着の汽車で行くとその少し早目にきて、留學でもそこにて歸へ振付ける

石川氏の外に、饒師通員氏の仲氏も同行、特設遊藝場と神樂座が、關東道の探して來られたのが、是我々の觀戦の上に、非常な賑ひである。

會場敷かれたのであるので、観客はその野原の有様を、目撃し得た。その意味では、この觀戰を見たか、これら饒師に就いての幾種設備を得るの點で、同小學校の饒師先生の爲めの「成程」と、早速先生を行、駈をつたが、その後先生が行、感であつてもシヤ、義士、或は非常人般に思ふ、しかども、大多數饒師は格で、商業界の留學者等はは待つて來いといふ服を着た一ツの目的地に、先文藝下車して見ると、その壯

農事講習會

成に出来るだけの努力を試み、
首領に對國へ派遣三木田無賴が
多きは井戸口と實情を便する
め、本年正月一萬圓を支出して
疊田、疊橋ともに敵兵等との
無賴を布を弄び、たゞ起つる所
では源兵を雄健せしむる等、
相當に力を入れたるは適内であ
る。

好成績に終る

羅爾斯地区では敵の生進、歩歩
七十餘隊に敵の上下に、上下
の分隊のたために敵の遺書に
敵の後衛隊、長官長外隊を
討つと武兵七十六隊から、八
十隊に敵の兵を、あつたはた
何れも心に定むるの希望があ
る。

日正極めて好成績に終る

實業團優勝

次にその竹田もや、目に見へて
来つゝさういふ體面であるが、幸ひ
に今川殿せむとする部族は、
一面において本道の模範部落の
一つであり、かつ饒ねて右訓練
隊は道國軍費兼重役で、五野士

羅摩の野球リーグ戦は、道國
代表部主催の下に四月五日の
日に亘り道國札幌と毎日第一

黃海道

養鶏の合理化

不況打開の手段として

實地調査の同業農具組合において
 ては不協同の二事、第一に畜養
 の合理化と、第二に衛生と、第三
 し生産者の低下と生産物の共同
 處理に難むの情状を加へつゝ、
 尤も畜養生産者の低下と、畜養
 生産物の共同處理の困難と、

小川畜産主低談

是種年九十九十前後におよび
 千五百頭以上の道においては組合
 有るの増進を聞きこれ畜産を個
 人經營する能はずと自給自足と團體を離
 れる不足を感し、自給自足團體を離
 れるの計をたし、從來、牧場、畜場、

海水浴場へ

海州支局 上村生

[illegible]

全羅南道

購組設立中

止方懇請
 鐵道工會長山崎嘉造議員陸
 左門、佐藤三造の三氏は六日並
 團工會を訪問し道廳貴賓組合
 立の懇話を聴取し更に道廳に産
 部長を訪問して地方繁榮のため
 の計画を中止せられたしと懇請
 て辭した（光州）

和歌山迄
蘭價盛返さる

の乗算平均七百三圓とす

在の國價は二十七掛となり、殿内始當初の五百四十七圓に對し實十掛輕減したので賣價のみした者大儲けである今は殆んど出廻つ義徳家には大した儲けはないがの關子で進めば秋意までには大儲けに入だらうとホク／＼ものある（荒州）

分遣所開設祝賀

長以下所員米光惠初左四

べく、なほ二十日頃、大郎麿兵衛長野大佐援擧のため東光の筈であつたが、光州官民は分遣所開設視察の味で水野隊長以下隊員全部を招する前節中である（光州）

謹告

事務取扱致し居り候程

四日から八千代町二九番地へ移
 撫張仕り候間此之旨謹告仕り候
 平 磯府八千代町二九番地
 京城日對社支局
 電話 九〇五番
 支局長 加藤 平太

ミツワ石鹼は、洗滌でも時に殺菌して使えますが、最近御近所では、御贈答の品は御手数から直接本館へ御一報を願ひます

○ミツワ石鹼本舗 東京 丸見屋商店
東京市下谷區二長町 營業所
電話 下谷部(一〇一一)一〇五
横濱東区七・〇三 電話部(一〇五)

甲元暑中の御贈答には

ミツワ石鹼

御贈答季節には 毎度御用命を賜はり 忝く御厚禮を申上ります
當年もまた 相變らず
御註文の程を御願ひ申上ります

ミツワ石鹼大形は三箇入、中打八入、一打四入の三種がございます。従つて御贈答としては三箇入大形、中打八入、一打四入の各箱がございます。

(圖寫箱 包入面打一・包入面打半・包入面三形人用適)

金線ミルク

京坂本町門丁自前五十番地(分館本館三七四番)
内科小兒科 北島醫院
鴨神經病科
おみやげの御用は
海商會へ

府浦南鎮

油醬至最

所造釀原柳

特約店
京都大門通丁目
京都美濃町四丁目
京都新町二丁目
京都祇園一丁目
京都本町四丁目

増田食品店
野田食品店
中野食品店
大塚食品店
銀治食品店
治助食品店
商店本店

高野製作所
京都府京都市中區
東區西ノ橋六丁目
(スモビル本館)

院病化贊

内小兒科
普入院意
傳染病及
古城憲治

森書店
現代法政大系
國學英文大成
現代法政大系
國學英文大成

多山岸

卸小賣一通信販賣
毎月定額月報発行

佐倉 葛城
堂佑天岸山
丁一町府京城京
角三七三〇
番二四二
番二〇二

節ヤシロ

通場市縣東安
堂山大

アサヒビール

所造製ケチルツ鮮朝

